

物價對策審議會官制廢止ノ件審査委員會

昭和十八年十一月十一日(木曜日)本院事

務所ニ於テ開會

出席者

原 議 長

審査委員長

鈴木副議長

審査委員

清水顧問官

秘
密
際

南(弘) 顧問官

菅原 顧問官

潮 顧問官

深井 顧問官

二上 顧問官

三土 顧問官

池田 顧問官

大臣

東條 内閣總理大臣
兼陸軍大臣

賀屋 軍務大臣
大藏大臣

山崎 農商大臣

岸 國務大臣

説明員

迫水 内閣参事官

伊原 内閣参事官

森山 法制局長
参事官

入江 法制局参事官

渡邊 法制局参事官

町村 内務省敬言保局長

柳 密 際

北村内務書記官

石黒農商次官

梶原農商省物價局長

堀江書記官長

諸橋書記官

高辻書記官

(午後一時三十分開會)

鈴木委員長開會ヲ宣ス

東條内閣總理大臣ヨリ本案ノ理由ニ付説明ア
リ

清水委員ヨリ價格形成委員會ノ存廢ヲ問ヒ岸
國務大臣ヨリ構成及運用ニ是正ヲ加ヘタル上
之ヲ存續スベキ旨説明アリ

南(弘)委員ヨリ物價問題ハ依然當面ノ重要問題
ナルニ拘ラズ物價對策審議會ヲ廢止スルハ策
ノ得タルモノニ非ズトシ當局ノ所見ヲ求メ東
條内閣總理大臣ヨリ同會ハ今日迄ノ活動ニ依
リ既ニ物價ノ大本ヲ決定シ今後大ナル使命ヲ

以テ之ヲ存置スルノ要ナキニ至リ他面行政機
構整備ノ一措置トシテ之ヲ廢止セントスルモ
ノニシテ將來ハ内閣參事官制ノ活用並ニ農商
省物價局等ノ部局及價格形成委員會ノ活動ニ
依リ支障ナキヲ期スル旨答辯アリ
深井委員ヨリ

(一)通貨價值ノ下落ヲ補償制度ヲ以テ償ヒ得
ルヤヲ訊シ賀屋大藏大臣ヨリ物價政策ノ眼
目ハ通貨價值ノ維持ト所要生産ノ確保ニ在
リテ國民生活ニ影響少キモノニ付テハ需要

者價格ヲ引上げて生産ノ確保ヲ圖ルモ物價
ノ惡循環ヲ未ス虞大ナルモノニ付テハ生産
者價格ト需要者價格トヲ分離セシメズ補償
制度ヲ以テ之ガ調整ヲ爲シ通貨價值ノ維持
ニ努メツツアリ而シテ近キ將來ニ於テ補償
金額莫大トナリ措置困難トナルガ如キ事態
ハ豫想シ得ザル旨
(二)輸入物價ト國內物價トノ調整ニ付問ヒ賀
屋大藏大臣ヨリ輸入物資ト國內物資トハ價
格ニ於テ相當ノ懸隔アルニ由リ輸入業務ヲ

柳 密 隣

統轄スル交易營團ニ對シ調整金補償金等ヲ
與ヘテ其ノ間ノ調整ヲ圖リツツアル旨夫々
答辯アリ

三土委員ハ戰時下需給ノ均衡ヲ得ラレザルハ
當然ニシテ乏シキニ堪フルハ貴賤ノ別ナカル
ベキニ一部ノ人士ガ教員ヲ恣ニシツツアルノ風
評アリトシ當局ノ所見ヲ本ノ東條内閣總理大
臣ヨリ今後一層ノ配意ヲ加フベキ旨答辯アリ
ニ上委員ヨリ價格形成委員會ト農產物等價格
形成専門委員會トノ關係ヲ問ヒ山崎農商大臣

ヨリ兩者ハ之ヲ合一スベキ旨答辯アリ

三土委員ヨリ

一) 生産増強ノ観点ヨリ物價ニ再檢討ヲ加フ
ルノ意思ナキカヲ問ヒ岸國務大臣ヨリ物價
政策ハ經濟秩序ノ維持ヲ眼目トシ生産確
ノ莫ノミヨリ價格ヲ決定スルコト能ハズ然
レバ特定ノ軍需物資ニ付テハ調整價格ヲ設
定スルモノヲ加フベキモ一般ノ基礎的
物資ニ付テハ價格引上ヲ認めズ補償金制度
ノ運用ヲ以テ之ガ調整ヲ圖ルベキ旨

二軍ノ急需ニ應ジ資材ノ整備ヲ圖ラニガ爲
公定價格ノ違反ヲ爲シタル者ニ對スル當局
ノ取締方針ヲ問ヒ町村内務省警保局長ヨリ
軍需生産増強ノ爲ニスルモノニ關シテハ特
別ノ注意ヲ拂ヒツツアリ尤モブローカーノ
暗躍ニ付テハ實情ヲ把握シ嚴重ナル取締ヲ
爲サザレバ將來閣ヲ助長スルノ虞アリ此ノ
間困難ナル問題ヲ存スル旨

三公定價格整理ノ要ナキカヲ訊シ山崎農商
大臣ヨリ公定價格ハ極メテ多岐ニ亘リ却テ

適當ナラザルニ至リタルニ由リ是正ヲ加フ
ベキモノハ是正シツツ漸次簡單ナル制度ニ
代フベキ旨

四大都市ニ於ケル配給ヲ圓滑ナラシムル爲
ニハ大消費地ノ特異性ヲ尊重シ縣外移出ノ
禁止ヲ解クノ要アリトシ當局ノ對策ヲ問ヒ
山崎農商大臣ヨリ物資ノ配給ヲ地方的特殊
事情ヲ考慮セザル平等割トスルガ如キコト
ヲ避ケ及大都市ヲ中心トスル供給圈ヲ定メ
供給ノ確保ヲ圖ル等格別ノ方途ヲ講ズベク

目下關係方面ニ於テ考究中ナル旨夫々答辯アリ

池田委員ヨリ價格ノ徹底的簡素化ノ方策ニ付質問アリ岸國務大臣ヨリ物價ノ對象タル客體ヲ單純化シ物價公定ノ方法ヲ簡素化スルコト等ニ付説明アリ

潮委員ヨリ配給問題ニ關シ所見ノ闡陳アリ委員長ハ以上ヲ以テ質問終了ト認メ大臣及説明員ノ退席ヲ奉ム

(大臣及説明員退席)

其レヨリ委員間ニ於テ協議ノ結果本案ハ此ノ儘可決セラレ然ルベキ旨全會一致ヲ以テ議決ス
仍テ委員長閉會ヲ宣ス

行政機構整備實施ノ爲ニスル朝鮮總督府官制
中改正ノ件外六件第一回審査委員會

昭和十八年十一月十七日(水曜日)本院事
務所ニ於テ開會

出席者

原 議長

鈴木副議長

審査委員長

窪田顧問官